

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
香取市	12	122360	平成21年度 ～平成25年度	平成21年度 ～平成25年度
活性化計画の区域				
用途地域を除く香取市全域				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
交流人口の増加	19.51%	32.13%	164.68%	

(コメント)

計画区域内に、地域資源活用総合交流促進施設、農林漁業体験施設、及び自然環境等活用交流学习施設を整備することにより、農業体験による滞在を促進し、都市住民との交流により、地域の活性化を図ることを目標とした。

また、具体的な数値目標は、香取市の事業実施前5年間（平成15年～平成19年）の入込観光客数が26,278,037人であることから、計画期間5年間（平成21年～平成25年）の累計で、19.51%増となる31,405,905人を目指すこととした。

活性化計画終了時の実績は、32.13%の増加、達成率は164.68%であり、目標は達成した。

(事業実施前)

単位：人

	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	計
交流人口	4,877,000	5,013,036	5,176,575	5,319,073	5,892,353	26,278,037

※平成20年度（計画策定）：6,503,062人

(事業実施前目標と実施後実績)

単位：人

	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	計
交流人口 (目標)	5,945,553	6,340,383	6,353,423	6,375,163	6,391,383	31,405,905
交流人口 (実績)	6,760,270	7,743,816	6,368,653	6,862,817	6,987,006	34,722,562

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
都市農山漁村総合交流促進施設	農産物加工体験施設 1棟			有限会社 紅小町の郷
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日(計画主体)	
有限会社 紅小町の郷	平成24年度	平成24年度	平成25年2月7日	
事業の効果				
<p>当施設は、計画区域内の広域交流拠点である「道の駅くりもと」、及び事業実施主体が運営している市民農園に隣接した敷地に設置したため、事業実施主体が主催する体験教室参加人数は、設置前に比べ2倍弱にまで増加した。事業の効果としては、都市と農村との交流人口拡大に加え、都市住民の滞在時間の延長も図ることができた。</p>				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
受入機能強化施設	食材提供施設、直売所、加工体験施設の一体施設 1棟			株式会社 和郷
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日(計画主体)	
株式会社 和郷	平成24年度	平成24年度	平成25年3月26日	
事業の効果				
<p>施設がオープンした平成25年度の年間来場者数は、約21千人であり、施設内の食材提供部分の目標である15千人は上回ったものの、直売、加工体験スペースが未供用であるため、施設全体の目標である35千人には、及ばなかった。事業実施主体の早期供用を促し、都市からの交流人口拡大、滞在時間延長の促進を図っていききたい。</p>				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林漁業体験施設	貸し農園、宿泊施設等の整備 貸し農園480区画、宿泊ロッジ14棟、オートキャンプ場500㎡、園路整備360m、野外ステージ広場730㎡、その他付帯施設等一式			株式会社 和郷
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日(計画主体)	
株式会社 和郷	平成21年度	平成25年度	平成21年度事業 平成22年4月1日 平成22年度事業 平成23年6月14日 平成23年度事業 平成24年9月25日 平成24年度事業 平成25年3月26日 平成25年度事業 平成25年12月25日	
事業の効果				
<p>事業実施主体が、農産物の販売を行っている生協の組合員や、事業実施主体が実施している農業体験事業への参加者に対し行ったアンケート調査の結果に基づき設置した施設であったが、年間利用者数の目標達成には至らなかった。主要施設の実績としては、宿泊ロッジの目標が3.2千人であるのに対し、平成25年度の利用者数は3,205人で、目標達成率は100%であり、目標は達成できたものの、主要施設の内、最も利用率の低迷している貸し農園については、目標が16.8千人であるのに対し、平成25年度利用者数は、1,904人とどまっております。目標達成率は、11%程度であった。計画策定時の目標に対する事業の効果は、現段階では十分発現されているとは言えないが、施設によっては、事業実施主体の供用開始から間もないため、施設全体のPRを促進することにより、今後実績は伸びることが予想される。</p>				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林漁業体験施設	市民農園のトイレ、休憩施設等の整備 市民農園外構整備一式、トイレ1棟、四阿1棟			香取市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
香取市	平成21年度	平成21年度	平成22年3月31日	
事業の効果				
<p>当市民農園の開設は平成3年であり、現在継続10年以上の農園借受者が、全体の半数以上を占めている。このように借受者の高齢化が進む中、新規借受者は増加していないため、計画期間の5年間で借受者数は、6割まで落ち込んでしまった。一方、来園者数は、平成24年度から平成25年度にかけ3割強増加しており、事業の効果としては、借受者に対する施設の利便性の向上、及び滞在時間の延長は図ることができたが、交流人口の拡大には、未だ繋がっていない。</p>				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
自然環境保全・活用施設	園路舗装、散策路・休憩施設の整備 園路舗装（木質系・コンクリート）一式、 散策路整備一式、四阿3棟、ベンチ21ヶ所			香取市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
香取市	平成22年度	平成23年度	平成22年度事業 平成23年3月31日 （休憩施設） 平成23年5月7日 （散策路等） 平成23年度事業 平成24年1月31日 （休憩施設） 平成24年2月28日 （散策路等）	
事業の効果				
<p>事業のおよそ半分が完了したところで、東日本大震災に見舞われ、平成23年度の利用者数は減少したが、事業が全て完了した後の、平成24年度からの利用者数は、増加している。計画期間中の目標達成率も、9割を超え、概ね目標は達成できた。今後も、体験事業実施等の継続的な活動をとおして、交流人口の拡大を図っていききたい。</p>				

### 3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>目標設定前5年間を含む7年間、順調に増加していた交流人口は、平成22年、広域交流拠点である「道の駅水の郷さわら」のオープンにより、大幅に増加したものの、平成23年の東日本大震災、福島第一原子力発電所事故による風評等の影響により、計画策定時（平成20年）以下に落ち込んでしまった。その後、市災害復興計画に基づいた地域資源の復旧等により、交流人口は増加に転じ、活性化計画の目標は達成できたが、震災前の数値には戻っていない。</p> <p>また、震災の影響は、事業実績にも顕著に現れており、特に市民農園の貸し農園については、未だ事業の効果が十分に発現されているとは言い難い。</p> <p>一方、これまで市の市街地周辺の歴史的な文化資源に集中していた交流人口は、市街地以外の市内各地域に分散され、都市部からの入込客の新たな流れをつくり始めており、計画策定時（平成20年）、市街地周辺の「歴史文化エリア」以外の「自然体験エリア」への入込客数の割合は、37%程度であったが、平成25年には51%と、半数を超えるまでに増加している。本市の基幹産業である農業と、市の面積の大半を占めている豊かな自然を活用した当事業実施も、このような数値上昇に好影響を与えていると考えられ、事業の実施は、市の活性化に貢献できたと言える。</p> <p>今後は、市内の各交流施設のPR、及び連携を強化することにより、都市部からの観光客の回遊性を更に高め、交流人口の拡大と、滞在時間の延長を図っていききたい。</p>
---

#### 4 第三者の意見

(コメント)

評価の内容は、妥当であると判断する。

今後は、施設付近の道路に案内標示を設置する等の更なる整備を進めるとともに、事業実施箇所においてイベントを実施するなど、人を集めることにより、都市農村交流を盛上げていくという姿勢をアピールすることが大事である。

そして、評価にもあるように、施設それぞれの特色を生かすため、施設間の連携を強化していく必要がある。

また、活用に幅を持たせる意味で、災害時の緊急避難場所としても良いのではないかと。

施設を利用した子供達が、将来「農業」に夢が持てるような施設となつてほしい。

(香取市活性化計画評価委員会)